の猛威はころに遺憾なく、質能された、記者は皆日の

収を国搬しづつある。その番職が何よりも 螺線に同変版の楽に既へた物心関節の打撃を基帯するものといふべきであらう、この改略を離析、大概型を敗めて楽の歌意を全く惑失さしめた、壽來わが 水館彫総の出墜に想ふ号に近欧際は楽草く目崩を事とし極力監

園召され、#目シメオン新添壁下、郷く市間せしめられたり 子園王ポリス三世座下前御の趣 を願布の同園公恵流と

東京電話】天皇陛下にはブルガ 御弔電御發送

あらせられたほか卅日午後三時卅 分用問題として侍従徳大寺哲原公

蔵田の路掛については今日政府・職力増展手段としての労働生

ある競金の形態が繰して合

が非現實的であることを示すも

說社

賃金形態の戦時的改革

しかしその食金そのものは合理 れだけ賃金そのものは一應安定

或は姿質なものであるとし

めて領軍に表へることは危険で 度を中心として諸柳の名儀の

おける月給制度であるが時宜に となった。勿論諸種の條件 の作業器に働く工員の賃金を

ともいくる。勿論日給制度を秘

人格を母軍する意味に於いて、 理想的なものであり、勞務者の

情勢と大泉距建設の貨情につき

なる見解を表明し引つづき記者

曹見を行ひ孫進した世界取局の現

政道はすべて移管された際で

では、重要は実施に各種した。 電音を大杯ボテル袋、新言師社には

日午前十一時より「衍報局におい

【東京電話】 天羽 行報局總裁は世

敵、短期戰

へ焦慮

とは十二日夜半だつた、 故はニュー 有力な 敷部隊 競見の 報にわれわ

海上に爆風の怒濤

來襲機十六を撃墜

回行政査察を航空機工場を中心と|周線原領次郎氏を重ねて第三回行

情報局發表(世月

政査察使として影響、卅日級令さ

政府は九月中に第三 して寶遊することとなり、内閣顾

作 藤原銀次郎氏發令

航空機中心に實

ある-

ン』附近にB25、B17、P38計 十数機をもつて來掛、我防空陣は

この配師においてわが方も未帰還 アキャブで三機屠る

ニューギニヤ各地に要撃續く

たが、わが高射砲時は猛烈なる

左のことく残実した

コロンバンガラ島沖夜戦の實相

身に敵火を誘導

壮絶、 我巡艦の 陣頭指揮

大東亞戰爭死歿者

|回陰速なる行質の御沙汰を無し| 撃援腸の光榮に浴した勇士は『功

武山大尉(顯)功四級

河原中將に功二級

金鵄の譽四千百五十三柱

うち三重が火災を生じ、また一隻」のカラ三重が火災を生じ、また一隻」のアウパスタ港を奇襲・中世紀のアウパスタ港を奇襲・中世紀のアウパスタ港を奇襲・中世紀のでは、1000年で ベイン西北沿岸地

沖合で反福軸空軍一機を撃

職責に氣魄を持て

田中總監本府員を諭す

ア リューシャン ヘアラスカより 塚本慶十郎著

5

₿6判●二八〇頁

経済 ・ 五五

离 外立岩沿

水

刊新社

本事は技術者としての婆者 が、科摩、主として自然科 の、最近数年間に於け る我が國科事技術界の歴史 の販展室を與べたもの。

宮原將平著 磁 氣 と

石 質

便約一・三〇 價約一・八〇

山田孝雄著 國

語

の本 磁

職線詩集佐藤春夫著 (系類外のうか日記される) 「東佐藤春夫著 (系類外のうか日記される)

區田神都京東 五ノ二橋ッ一

小

學館版・文藝

書の職場と

草の蔭に動い。 (で、大田 度 野口米文郎 (で、 の) の (で 文 日

東坡

學

大

概石川 淳著 (品牌の創用を開発と、影音) (品牌の創用を開発と、影音) (品牌の創用を開発と、影音) (品牌の創用を開発を開発)

京東 替 振

著祥靈村田

and the second s

常在原場の念山水軸含著名が、過去の時流を除然と押しゃり。 例氏 大の一人々なが難ふ子門し時人の一人々ながないに示した新的様だり。 見ら 利茅湾自設 「情鋭公」。 一〇

房書歲千

詩集みいく

傷寒軍人歌集 佐佐木信網編

の推巡型化に伴の演口におけば「減口計目同盟」わが對文新

春心 血溢系 症怖耳壓血病

漢口敵產移管

特殊鑛増産を現地に視る

(3)

年職、会員世名が撤夜一交替とい

鑛主は三時に起床

螢石生產陣、將に懸命

目標世億貫を突破

方目観ぎ目指して今報以來生趣に「耐暖調謝和を推飾して謝家と穢力・間は八月二日から「週間、第二天総貯者顧目報廿懺萬職、別營至城、韓の後感である八月に入りては増「に管つてゐるが第一次将頭暗懇感

| 画尚北道] | 際北道今年度の決取 | 努力してあるが、これが原料山野 | 蹴盟と表演一覧とたつて増重領動

先づ慶北に凱歌擧る

現

況

顧出で管例に強つてゐる、既に第 日迄の一週田寅施、目標数景心成

歌を繋げてゐる

各騒山村の部落縣肌を實行軍

牛隊員、駆彼生徒児童を越助員し

夏に七割冬三割

第一千萬百 (反偕三百首) 增產額

上記場産の一大総力運動を展

平南は附帯事業も奨勵

日送第二次地産週間を質施した結

公公

日間が。關

万原

半島の肥料増産戦今や酣

料境所版は今や軸である、熱性府及び 三ケ月にわたつて続けてゐる乾草及び 総力際盟が中心となり七月以來九月迄 しきものさへある、幸ひに単音総形の る。何づれにせよ、茲十日といふもの 段常語き、残る九月中旬の秋の際繁羽 鎖成期間としてゐるから、もう一種問 ける筈であり、また地肥は九月一 道とも眩点の特殊方面に関する供出一

を か

穀療地、宅地の周園、 関係は云ふまでもなく、 草は道路 八、廿八日の三回を一座哲職に雷 七、八の一万月配毎月八、十 り三百一里)であるが、殿務課 ン心動に依つてゐる、質施方法。道思會が主際となって堆肥增重に 別品で各部を 機器、 乾草及び 地 ことになって ある、 また各地では の分で行びは密明米の集門を保は、成に向うて悪流するとになった。 草木肥として別々に採取せしめる 競争心を超させるべく和々対策を

【忠清北道】忠北道では七月下旬 忠北は七割確保

土、催池の土等機動員するが、

に山林碑とも連絡をとつて、下草

全目標の七割を採取、なほ名季間

になってゐる、斯様にして夏季に

撃墜された敵米機一(玉は紅田県に 抑官に内跡、産業、衝突各部長を から乾草地肥の一大埼帝匪腕運動 技師級を保長に强力なる哲師陣容 現在成員並に堆肥の増蔵質績は夫 夫目標型の七字を突破、目下乾草 を固めて指導搭風に強り、 置けてある、駅中婦人班員、風夜の 五千萬田邊成員指し増属の敗略を

咸北は今一歩

金融機關の總動員

信託兼營已就で 水田財務局長談

局長峽を強奏した「金属=水田財 令の施行規則を實施することに決 私は屋道だちの山と婦人、屋流が「堆肥一萬七千六百萬度の境蔵を目れば思想だちの山と婦人をちの山、あ」「咸橋北道」歌章四千四百萬貫、

道側管弦の 五部は既に 扱き炎天 朝有事に聴へるべく各座家に保 三百貫攻略を期する堆肥

て九月六日から十一日迄第三次地 に戦る全北の底力を遺憾なく競技 **実践下の親力増殖に領内で影園遊」に至り、九月十六日の運動最終日野城を護動員し、郡民大會を開き「報國際の出動で碧々成果を駆ける** 乾草目標最大千百十五四一千日は 難げて増蔵へ指車をかけてあるが一迄に目標突破は決定的となった併 し今一歩といふところにあるため「

期運及び鮮内土港選作業會社の合 鮮內港灣作業會社合併

ることになった、合併契約の概要

契約書の期印をもつて正式に決定 構造及び朝乳の関係官民立曹の下 配代表によって行はれた合併

月下旬から十月下旬の四ケ月 してある、先づ草刈郷間として第 間の二百八十貫を夏期増減目 でゐるが乾草は腮、内地八百

柄 大引 高値

て微身服行の近を駆ぐるも 死生困苦の間に盛し、 西域の極致を設計すべ

草を虹陽射行してゐると にしても山崎部隊長以下 報をいやが上に閉場させる 绿 5、豆类品 元が、そのま\ 「戦略!!! 聞くにつけ知

蛔虫 はの健康

大丈夫と見透されてゐる 國民食糧の増産を確保するため各 全北も六割

一次増配週間の最終は十九日を以

【平安北道】乾草八千萬黄、堆即 平北の指導督勵隊 事も斡頭へ 部が足を運び指導格職に努め極力

忠南の追蹤急

「風尚南道」食物地画館保の喫緊

厩心の増産

意氣込む避南道

局でも知事、都長、始め各種長も なしてゐるが、增産目標は乾草

重六、九七八萬宜とし、

好成績を收めたるも第二期を

各種原像の動勢率仕の協力をなさ 必ず一定の草刈に從事せしめ、

今や既南道を駆けて行けれ、當

秋田證

府、難、邑面、醫察署、金融組合

逞しい氣魄示す 京畿道も五割を突破 入ると共に、これの徹底**職化に一** 頭指揮から陥つた知事は第三期に 目標への接近を聞ってゐる、草刈 運動に不徹底の像みがあるため呼 増重期間に 定め置行に 驚つては 目指し近常地肥二百五十段、冬季 肥五十段の造成に馬力を掛け七 のから十月までの四ケ月間を地肥 堆肥共進會 **と関い完熟地肥三百貫確保を** 『南道』忠南道の堆肥均陸道

した成立地肥瘠電温助は道内の3一肥滑産温助は各駅配及び駆牧動勢に乗って七月廿六日を押して展開 一転に集中した成北道萬草及び堆 【京観選】華々しい熱力運動の液|指し、七月末から道の熱力をこの

して表彰を行ふ

強は堆肥材料に利用、一方堆

は塩刈地既肥と楽界及び開

る (傾く) 大阪河(新期)

加口現場に赴く、恰良強磁のあつ 折よく居合せた競主番匠氏に案内 されて、それより更に約一キロの

議員全部 が加口で待機し

六名、中の一人が顔主の姿を認め ると、いきなり

られて皆然であらう

德津螢石鑛山

規模競山の一たる忠南大領部を配着は一日、辞側の地にある小

即時に、更にそれ以上の節空後の | 進は銀石の需要を動期的に増大し 眠つてゐた半風蛩石獅床の積極的 状態極めて乏しいため従来時間 つくあり、而も内地に於ける賦存 ロの地話に辿りつき、それより、健歩で終天下を意念のであるが、要算を聞みつく行けは適か的方

接頭者の大量養成が必要であると、学能に於けるブルミ工芸術語的概

政が絶数不可談である、しから ノルミニューム概合金であり、

飲からでそれ迄は所聞、機械で簡

の一共にアンベラに腰をおろした、瞬一の部繋が始められてゐた環度であ

と見合をかけた、郷主は

ふから成る程、日中は十六名であ る、現版主が引受けたのは六月下

半断、公員州名が歓夜一交替というが、無然たる手棚である

銀行業務及び信託業務の策然に開

ン銀行の大衆貯蓄吸収を理化する

カ月一日付をもつて右に関する戦 むるとのする途を招くことになつたが高々 金の吸收 吹特に大 興を贈るといる選貶方法を執つて る。けれどもこの出動時刻の概

念であった。

として下土宮、兵を派遣、卑仕的

ものは崇高なる、献身語公

俱に収入の 本分を 完了

し、総は相較ひ、非心相

最大限度

られた恐怖ともいひ得る。

でのまく山崎部隊員士のな

戦前中の工員に出してはわざり と重耳即線を貨施したほか可涵き

告するといふ機械的増産協力

鑛振大田選鑛場

を過ぎた氏は『目下自轉車の形古

させてゐる、たゞ生遊資材として

級國の難と敬つた。だが 千有餘の勝民は上下心を

と明上げるといる前輩も振り覧現三倍に、十月には更にそれを一敗 出頭量を増産期間中の丸月には 中です。と五十の手習ひを貼つて 陣頭指揮 あつてこそ、

出、紫州と何れも愛石の主産地を 出、思州、深州、金景、麓城、青 と湖南線の分岐點をる交通の原航

で出來形も既に三割に選してゐたン處理能力の母辨邇鱖場を塌設中

兵分院では八月初頭、一週間に関数背は特に重要であるが、大田郷 ねばならぬ、後兵制の實施と共に これら工場に働く中島青年の使兵 大田憲兵が家の指導協力 能力に對し資源はヤン労るかので 整機関たる朝鮮顕紫振興が、 環境と関るのは 平地に 建設されて **台田省石運搬場は銀石室買配給開** に至ったものである。「 、月に 建設着手、

なほ最後に特別訓練として に作業訓練として一ケ月のうちとの番 ひを正唱 する、また時 一石一局を捕してあるのであるして競技による競技と能率増進の

延

大的形式 大學

ワタカルシュ

存力な除路となつてあることは事 安産のために

際は統革の本義に則り、

に取人精神の精節なり。こ

を浸するの場合なかるべ

睛の徴兵制に萬全

園文的版に参加波載を極めたアマ | 頭の分解長として画版版画・同部から引きおろすべくシンガポール | 作服総成コタベル上陸の年田口兵から引きおろすべくシンガポール | 作服総成コタベル上陸の年田口兵

【小倉電話】英國旗を東部の天地

身に餘る光榮

陸軍軍曹は筑盤茨田が大泉距閥等

月半で敵機士機を血祭りにあげる

しもにスマトラ島バガンバル飛行

油槽に敵災を受けいまはこれまで を散行敬大心穏を属つたが実施の 高度 〇メートルをもつて 動地攻極 場の攻隆に卓機を採つて頭踊出助 昭和十七年四月〇日は加藤知神と

と加藤町神日韓の教をそのまンコー五月少尉に任意、大県亜殿物設す ム味めがけて『熊下縣かた『陳嶽』るや劇館出動したもので、光気の

回祭に詠んだ際世=長女小

脚を作つた若武者功五旭六の脳跳地官と差しちがへて全印脈跳の意 腕屬題郎上總波村出身故永芳久人

全鮮に徴募區を設定

表發省軍陸

冯 潭府

域に強ひ起たんとする半島の陸軍

料土官學校採用検査はまつ身間

旅館の協力要望 陸軍像士檢查に

| 放査を九月一日から十一日京で京

。御稲として、幌叩をかけて配。「城の軍統院で、同十六日から十八一が、武脈は何れも毎日午前八時か一遍到しないやら朝御戦を早めに巡一要回してゐる

大邱の三地で墨科試験を貨施する て廿日から廿二日まで京城、平場 日まで平場陸田病院で執行、

はこれ等の受験者に對して動じて 方から集合した者で旅館、下宿等 ら行はれるので受験者の大部が地

は特に脳殿、下宿經感者に対して殿に進帯ない部力を除すやう領で (加し、中庭を旅行するやう手廠を

・敷機を撃滅

軍神加藤に從ひ獅子奮迅

特定解認さん(※)は放放と認

幼少語る母堂

飛行機が好き

酸表されて一般國民の一般と

電話」アツツ島に玉座した | 稱してゐる、五月太アツツ夏守婦

際玉平の強表をラジオで聞いてい

アッツの玉碎

帝心の作 勝田書伯

國防献金

門ほじ茶藤

心機器の末期く描き上げたもので

局幹都練成會▲三圓二國京城府【海 】▲二十圓城鮮總路府服

新社名 瓣 西野商店京城支店舊社名 瓣 西野産業瓣 京城支店

丰

河戶外科 经产品

密林に不時着し相前後して不

なったらあの飛行機に振っなったらあの飛行機に振っない度から飛行 あの子は小さい時から飛行 かを汲む 私に 割得さん 僕は大きく 私に 割得さん 僕は大きく

はする力作が冷しくも二十九日

、現伯は三十日曜年名を訪れ

一日まで上野空が似で開か

回省では卅日省令を以うて朝田・田野の名を取事。

京城兵事區

心散発晶において受検す

く輝に甲勲殊 尉大山武の島半

> なり選ばれて、その僚機とな 興加陸少將の窓めるところと

り、然るに昭和十七年一月十 しめ、或は遺虫なる、情報を取りし以てその指、根を容易なら

ランダ兵一個分隊の日川攻撃 りて傷を雅ふ、然るに廿日オ

と必須深く問い合はこきわか

一百三十週八十三錢

関山は増産預調運動に

同今沙ノ幹山道管ニロテ(同等ノ支急を以之晩終明結末期度時間利十八年八月二十一日

取解ゴム靴用品製造株式會社際を登場をする。

大容を飛ぶよ」とよくい

るペナン

半岛田島港 聞く弥伽門

地下の主人もさぞ感泣

(性として立たせたいと思っ) (壁の身をもつて特化版に突入の場合として立たせたいと思っ) (壁の身をもつて特化版に突入の場合として立てはなり) (単位の) (単位の)

の中を進撃したのであつた。敵火 昭和十七年二月九日朝五五高地の 林が彼我の砂臓によって格ぐ 負けぬ氣の强 加藤大尉嚴父の感激 ためであらう、かくて前夜迄頑張

空に生き空に死す 談人亡未將中原河

助

からぬ命の

米の人絹洛下傘の悲劇

既にを辿じその絵多数の飛行 肝腎の落下症は多くは腸かず

本からの本制輸入が杜絶した

ため米空軍にとうては全くの

泣き回に媒の場面が織出して

酸のは丸であつといる間に燃

本社寄託献

國防献金

新型機學

。大東亞書道展覽會

無料 大日本書道報國會 無料 大日本書道報國會

◇すなはち在支米公軍は廿 日、廿四日の二回にわたり

グ子

人間のため全く用をなさず一

際に当詰められ揚句の果一機

明中將は初代の00飛行廠隊長と 職に陸東部隊長として純損に活动 し途に避國の華と一散つた河原利 優し い部下思ひ 河原中將を偲ぶ數々の逸話

が、河原縣隊長は就任以來部下一せしめる航空機乗員権成所本科生

製通り退信省採税練客生として名数大尉は中島を終へるや年來の宿 作により自爆、飛路機隊の『切腹 時職隊長としての故中将の部下

> ればどんな高四な飛行機より の先づ命が第一と米空軍飛行 一漢口廿九日同盟】解除され

の質山藤大路らも加はフてをり、石質の認識に沿し歩えある御沙広を押した名類様の慰謝もまた一しほ深いものがある がマライ収録で配死した販治圧昭飛行士、輝く単収闘隊の一人半島出身

る【繁賞=加藤大尉】 めの子竇家庭として昭和十四年秋

は日を追ふて瓜沙化しつゝあり航 信名航空局では民間航空発域の

ならびに採掘生の製造が明治する

昭經出

【京京庭語】航空決版の勝利者た

五ケ年・爆弾出ーケ年で一切冒数 こととなった。その緊急吸納は左

聯隊將兵を膨激させた話である 確保に鋭紋努力を排ひつゝあるが

地域後を立て所内置低語や機調で一要派に勝くることにはつた地域後を立て所内置低語や機調で一要派に勝くることにはつた

【釜山】寒力暖望では來る九月十一颗睡幕、所内常設地整照にてマス

三日の司法保護記念日を一般で撤

陰の人々に温い

は一等航空機構能士、一等航空士 ▲総級県納(一)圏縁に信守師。 られ、また整備専修善には整備士

募集期間 九月一日 場です 本科 (明朝國門政府)

山口樂器店

忌明寄附 京城 華 という。

クの場内放送で徹底せしめ途の人

人を保護する道段心を出掛し國家

京城 人村



人前に働けるやうになりまし 年生まれた仔易も、立誠に半 、驀進 の秋 を、要を、野災を作り、 肥料の力でたんとお米を、豆

豊穣

南から北へ表原と吹き渡る

◇…・青い大公の語を買白

自要よ、何處へ流れてゆくの

・秋が辿つて來た、何よりも第

の性であり、隙間である、草

中職と於いて勇猛県敢

りに震激してゐる、それとし 質と作って、金配にも増した が伸びたら地肥を何百以何千 いやが上にも盛り上げなくて の圧力を作つて決戦の凝気を ねばならない、夜の京成に漫然と 素を行うて廿八、九州日管内盛り一名に運行された、府内来書門最初 の集するペネオンの田々に微値を 明治町、本町一帯から新町、 約年数は留置され機能は嚴重問題 が默外に多い、南山町栗栗茶店に女子大墨生二名も加はる幡郷蘇生 上放免された、雄体者一緒の本

盛り場を一 本町署の不良者狩り 一齊電擊

監等男子五十餘名が一無検束され の一掃が今後引着き動行される

地み入る、背杖に悟して伸び た高い霧の穂に、又その株も

今年は好職なのでする等々の 年は早害で苦願しましたが、 を持つていよく
売買の秋に 徐りが成力増弱の大きい一貫

りました。一名祖父さんは老 たする坊やも歩けるやうにな

深夜公園の間に裏助する不均な徒

煙草小資人の奉仕

千名が、來る九月一日から日曜、 の盟軍がどういふ風にして製造さ 長い問題草を置つてはあたが、 城府内一千百名の原軍小曹人中一 五カンの虫に!「粗悪類似品

外所質問節内の銃棒技術を行ふ 早和人はから中島彼々庭に於て 乘馬檢查 冒心來是

ならな

鬼気迫り強怕は卒然的の前に被否無を強めてゐるうちアトリエ内に をあげアツツ守備の興職を所った は人坑船の金属山成士と るためでありこの恐懼の私のあ

ジオ放送により訓示するごとに だめラ なる 於也一·營業場所 日名 一、本店所在地 的稱

群山、全州、建里、金堤、井邑 南原、其ノ他道内主要ノ地) 一金岭土萬側也 一金岭土萬側也 六十名

1、1個の個人では、1000年間には、1000年間、100

京城腦病院

クロダ歯科

社名ラ變更致候間此段公告致候當社事昭和十八年八月十七日ョ

七日ョリ左ノ如ク

社名變更公告

淋疾にコノフアミン

医学博士 中橋幸馬

附離病室

化粧品材料

X内 光科 科 科 報

化學商品 紫龍河北海岸縣 東華洋行 東華洋行 を直撃を大変を

和人婦·科薩 艷森 森 原 藤 藤 藤 藤

みごと甲種合格

三億1 千萬四の強増器形必成を期

國債消化に新たな手

道が準備金の積立制を實施

海兵に馳せる汗の戦士

中勝の苦人が『我和ころ誰とも負」に含然、その関和の入所を待ち無手勝の苦人が『我和ころ誰とも負」に含然、その関和の入所を待ち無

いの、松岡産動でもの陳君は南ち

成成の秋國民織殿祖の書む で新たにする爲九月一日午

義原のぎそみ

献金の花束

多数にのほうてゐる、

影子フス既者敷は二百九十

所里病(II) 工场、敷锅、 含、作菜场、碗山(三) 交。 食、作菜场、碗山(三) 交。 食、作菜场、碗山(三) 交。

發疹チフスの根絶に萬全

め

よ衛生陣

の根本方策(一)風の関

かた初秋の清氣の

が、かけー変や

(家たか。どうしておれば、昨日

太郎が頭に手をやると、隠れ

若も 男も女も 爆

バスに刎ねらる

拠と歩くのだ、毎

へ出動すると

踏みしめて、老も

長袖献

納

チ

7

筒型

合唱 京岛

京成府社會県提供の映画を

E C てゐる

席上が旅館金も計畫さ

をラジオ

決戦へ挑む日婦の固き誓ひ

たところ緊急盗の赤っ族つて緊急

筒型で行け

半歯婦人の決意は固い、瞬 手に抱いて歩く時代では

われら歌じて回つと

機と船に立張な戦士を捧げませ

目を憲職して同四時閉館した 【金属—日羅安部打合會】

引合館は何れも真例です。

日所の新設足です【鎌倉は 米英峰らてし止まむの織力

をこゝに結果する、力強い

心に痛く感激、直ちに本社を通じ

徴兵感謝大會戦闘監基督教信徒の日本語 の金必ずお國へ捧げて

楽者を二へもなく勧り一方配給の

足と付込んで呼内の一部と思想

のベッドの下に刺ってゐる。

棚子の質が、ああして原子博士

スコール

3

ふと気がついて、博士の方へ戻つ

次郎(種) 一一(作)

野 松

私が恩用品代を節約して貯めたも のです、國防概念するととを約束 死歯の旅に遺す童心の赤誠譜

て他常した軍國少年の混ぐましい 京城鲢岛國民建改四年生西大門

質濁町第一種拜堂で『講演と映画 のタ』を催し参元に範氏の頻唱、

ルを威嚇し世一日子後七時半から

防火脈線と心の準備はよいかと 心出も深き関東大庭火災第廿一 震災大法要 早前十一時五十八分 あす博文寺で、

たった一つ。すると古つ古ペツ

高級職工

八に 明日の英氣を 覆ふ『よき』

及び種災者の縁故者が多

職ぶりを物語つてゐると同名では

人の割合となってゐるところもあ

に

皆つたと

ころ、

定員を

超過する





海に対す





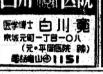
「策をかけていらつしゃい。



(III)



浮





座 日











花が高される 明 座 冶

2 1

場劇於日京 劚

臺唉? 若

京城洋裁學

片裁生徒募集

が 🗟

の風

別越荷造

京

記仔

場劇陸大

》淑英娘子傳 『聖史』

場劇洋東 座

奇樂學 戦國民防空工本ニュース 新 館

花







館畵映信和





























第方のもとにサ八旦三等。(編章等) に敵の機先を制して土陸して敵米不逞の企岡を粉砕し 潜落戦を政上振井目同門 駅本部経査三都漢を潜水艦基地として便用せんとする形断がある場合のた然園港印度設定は水上体総約

三都澳に我陸戰隊上陸

米の潜艦基地粉碎

|漢に同じく他の一隊はマウントステベンス南方の美波油機海岸の上陸にそれた〜成功、中である、すたは2回日中 わが陸戦隊の一隊は三都澳稅關角の突堤に他の一隊は 稅關西方

敵見張所その他の施設を撤去して同地を確保し目下作戰は順調に進捗してゐる

アツッ島勇士を讃べ贈られた詩(芸學院)

他科學展別のための何々の機響

強励場、管楽會などは一切遠原中

の表

☆小林華一郎氏(朝鮮林樂別優株

主要食糧について

なきまでにこれを翻述してあるが、表る廿日より廿八日までの綜合、職果は次の選がである。重要に新し続に機先を削し敵を徹底的に撃摧するとこのにわが方の間戦を繰って不悪にお

蠢動の敵機卅二屠る

神の歌はブーゲンビル記プイン飛行場に來願、わが跋踬極際は直む にこれを逃避しポート・シコルス キーリ 試過第二層を駆逐しためが方も未過難に 優を出した

進攻作戦一、攻撃目標・原軍軍工場地帯、一七億(うち不確定三艘)地上火器による戦略を四〇、四機(うちを

重臣側より

、これに對する戰果、意図二場地礁爆聚炎上、萬間短

全然問題にならぬ敗退ぶりを示してゐる、

孤島無援旅軍破放園

軍事施設および協能ならびに船舶、三斗坪附近船舶、根林、衙一

・花泊中の耐和三型合計で

軍官、要路と懇談

| 外しの上面で建たりましたるは「製ま他に配介し配力増殖に置する」【東京管路」整工職員の情報度最大の他の金融製品建設「おいて電源製」ましたる上、陸海 商議職は上記を明ま出るた。 第80程に営む ので金融製品は鑑えて大東記者に ・ 用力・進出

農地改良

青木大東亞相、初の訪滿

情報局發表】一青木大東亜大臣は潮州國及関京州に於ける大京電省頭地機關の趣跡、現地陸池軍部層部よの運動を行ふと共に潮州國政

彼我の損害四對一

常典せる協力に對し感謝の意一なりといはねばならぬ、青木大東のきに東條官相は潮州國の我一思を迎へることはその意義既る大

相 和会三宅中央本部長等の教理をうけ新聞記者職と會見、別頭の輝く大臣職を趣奏、直とに指向ヤマト本権、路の人々と親と会談地会と、大原昭和として最初の親洲國人りをなした青木一男氏は花師大田院会集、新町二時 世分領派と到金とと、大原昭和として最初の親洲國人りをなした青木一男氏は花師大田院会集、新町二時世分領派と到金とと、大原昭和郑田樹綱の活動状況を職業の後天運郷市八月十日日本村、路の人々と親と会談を行か、現大東昭和郑田樹綱の語動状況を職業の後天運郷市八月十日日本村、路の人々と親と会談を直といて指摘していません。

州國東路の人々との影談と歌がら、地がやき途を取がにせられまする。レビ京、企能影響内地震保方面と、この暗型洪水施設の選びによる二、おける協議生態が関づし、地域とでき途を取がにせられまする。レビ京、企能影響内地震保方面と、この暗型洪水施設の選びによる二、おける協議生態が構めませ、地震し、オルテルスター 右時別行後一切の街上

外米依存を一擲

大東亞建設の新局面に即應する共一事情等に鑑み極めて重要な問題と

半島第二次増産緊急對策成る

市場喪失に焦慮

南米市場から一部特殊のものを で衝次増しつくあり、英岡の貿

出張所

獨、反樞軸の謀略完封

健民强兵へく

11/14

熱朝

B 組

京城府中區蓬萊町三グ四一

文 店 所在地 仁川・釜山・鎮南浦

永登浦·平壤·順川

富心・清津・水原

チジコル 製造發 3元陽光堂製藥會社 節行を表してマテスが記し、いいのでは、いいないでは、いいないでは、いいないでは、いいないでは、いいないでは、いいないでは、いいないでは、いいないでは、いいないでは、いいないでは、いいないでは、いいないでは、 型製 1100 10官

にか立ち去ったと解へられる。チ 共に巧に熊副網を抜け出し、何臨 であるメスタ夫人と三人の子供と アノ伯はムツソリーニ統領の令爆 けてゐると「你へられる。元外相チ

【ベルリン廿九日同盟】検束をう

岩艺

適 臕

症

監視網を脱す

チアノ伯失踪

の機能が設置性大切の機能が進一級。 一年の加速が開催した。 一年の加速が開催した。 一年の加速がは、空間からが、 のでは、空間が、 のでは、 のでは、

せ待つてゐた様子だが問もなく再

と私取を立ち出で町の外れで立た

三、一、應募資 四、待

格地先

八日子前八時四十五分失人は子供 うて外を眺めてゐたといふのを

後に絶えてしまつてゐる、翌廿

訓練教師募集養成所教員

月廿七日の朝早く伯が私以の窓に

と微歩してゐた、伯の消息は八

、突破重な監視をしてゐた、但し 島にあり 八名の 刑官が 七月廿六日

ない、同日十時頃チアノ伯も私以 立ち去つたきり、耐後消息が削ら び外出、子供選と一緒に何處へか

五、住

衡費 宅

私は出口が一多しかないのにどう

か、『コリエレ・デラ・セラ』

本人及家族三對ショ出後支給

介

壤職業紹

に酸性して逃げ出したのだらうと

英軍需工業に

廿五萬を再編入

出出來をか全く不思瞭だが、巧

■電大震の代古本日、 卷四会開公系紅 作名ぐ仰を姿の久際がわ

血を變 ……ぐ搾に震英の に共と民國領一 足の間元本山 へ菌を滅す

が、これらは何れら軍儒工業方面 へ利用されてゐると

行はれこれによって約廿五萬の

高により各産業の合同が至い

ストツクホルム廿九日同盟

卷四全界公系自 帥元本山を畵映本でん謹

ン灰電ー英國においては企業

患者の血液には光暗も邊際科も見られ、光暗と視色の邊條根が見られるが起機(健康者の血液にはキラキラと光り輝く 新學理に立つ病源療法

肺患 日一班

の軟び買ぶ

話響:18

戦友に送られ勇躍武役(〇〇方面陸東活躍

絶對無害 ・殺師のロオドラミン

たった、ヒルマは「ハ

貯蓄陣は幽制を益々線に概へる 心臟፞፞●手術可能 半島醫學陣に凱歌擧る

「日日一本 社を訪れた 店演生氏

統制整備

生活の中

ゐる

敵機盲爆に住民の憤激

の特性がよく現はれてゐる。それ

士









億攻略で全し

お醫者、辯護士も貯組を結成



| | 「東京市の大阪

作者の言葉 村 松 梢 風 私は暗等な瀬戸内様の絵々を巡った、往時口はります。 倭

壯烈、戰鬪教練

中一彌(畫)

高等官の錬成始まる

鍛み陣頭魂

けふの市況(昔) 小聢り 賣物乏しく

水

是在《按照》·化量器

等容量发展求過**售**音音量查音等等等。自由空間等更多 ね雑符も 濟公續連夜畫日





日變 更 リ左記ノ 通變更可致候間此

語 東方医院 **漢方科**

有限會則京城明和商籍中國內部等自主大衛國 朝鮮 迎送 株式會

以式 名 美數學院 停止 公告

港

運冰式

會

社

道は一筋 店商助之友井口

るて、か引 あが拘かもらいまる るららと 結の 一六--五局本表代話禮。三明全黄城京。員5月取代一取朝

高周波重工業の